

事務事業評価シート

事務事業コード	011700	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	企業誘致推進事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
目標の 実施の 目録	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件	運営方法	直営
	企業誘致の数		4件	20件	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	企業誘致推進費		予算事業コード	01-06-01-02-17-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市内の既存企業やその関連企業、鳥取市への誘致により大きな経済波及効果をもたらす県外優良企業等
意図 (どのような状態 にするために)	本市への企業立地の促進による産業構造の高度化及び雇用の拡大や、地元企業の支援による生産性向上を促す
手段 (どうするか)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を取りつつ、県外優良企業へ訪問し誘致活動を行う。 市内企業を訪問し、増設案件の掘り起し。 多数の企業が参加する展示会にブースを出展し、アピールを行う。 企業立地ガイドを作成し、市のPRを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成	①企業訪問数 市内:述べ225社 市外:述べ75社 合計:述べ300社 ②展示会出展 ③企業誘致パンフレット作成
年度別実績	①企業実績数 市内:述べ270社 市外:述べ82社 合計:述べ352社 ②関西機械要素技術展 出展 ③平成28年度立地ガイド作成	①企業実績数 市内:述べ186社 市外:述べ119社 合計:述べ305社 ②フードファクトリー 2017出展(一財)電 源地域振興センター委 託業務 ③平成29年度立地ガイド作成	①企業実績数 市内:述べ145社 市外:述べ50社 合計:述べ195社 ②実績なし ③平成30年度立地ガイド作成	①企業実績数 市内:述べ189社 市外:述べ182社 合計:述べ371社 ②フードファクトリー 2019出展(一財)電 源地域振興センター委 託業務 ③次期企業立地ガイド のデザインを作成	①企業実績数 市内:述べ94社 市外:述べ33社 合計:述べ127社 ②実績なし ③令和2年度企業立地 ガイド作成	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		26,676	16,040	5,020	9,082	6,615
直接経費 A		24,676	14,058	5,020	9,082	6,615
国・県		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	
一般財源	24,676	14,058	5,019	9,082	6,615	
人件費 B	2,000	1,982	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]補助事業指定企業件数	件	目標	30
			実績	32	49	72	82	93
	(指標の説明) 平成27年度以降の補助事業指定企業件数の累計値。基準値は平成26年度単年度実績。							
2	企業誘致数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	1	1	1
	(指標の説明) 単年度あたりの誘致企業数。							
3		件	目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P104(経023)</p> <p>【事業の概要】 本市産業の発展及び雇用の場の確保のため、本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図り、鳥取市経済成長プランにある雇用拡大や地元企業の発展につながる新たな企業誘致の実現に向けて取り組む。</p> <p>【事業の成果】 企業誘致及び設備投資を推進するため、鳥取県等関係機関と協調して、本市への企業進出を働きかけた。また、市内企業を訪問し増設案件に対し支援を行った。 ・企業立地促進補助金指定件数(市内企業の増設含む) 平成30年度：23件 令和元年度：10件 令和2年度：11件 ・企業誘致数 平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：1件</p> <p>【今後の課題・方向性】 コロナ禍によって製造拠点の移転・集約や新拠点整備を検討する企業や、地方へのオフィス移転の流れから本市への進出を検討する企業からの問い合わせも増えている。引き続き関係機関と連携し、限られた工業用地や空き物件等を有効活用し効果的な誘致活動を展開する。また、地元中小企業の労働生産性の向上及び従業員の処遇改善に向けた支援を行い、誘致企業と市内企業による均衡のとれた経済発展を促す。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】補助事業指定企業件数	107%	109%	120%	109%	103%
	2	企業誘致数	100%	100%	50%	50%	50%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により積極的な企業訪問ができなかったものの、WEB面談等オンラインでの企業誘致活動を行った。また市内企業に対して増設等のニーズがないか聞き取りを行った。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>市内既存企業及び誘致企業に対する補助金指定件数は単年で11件であったが、引続き累計で目標値を上回ることができた。また企業誘致数については目標値を下回ったが、近年注力しているIT・事務系企業を誘致することができた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成31年4月より関西事務所企業立地コーディネーターを配置して誘致活動の強化を図っている。コロナ禍においても企業の立地案件は多く、引き続き関係機関と連携し、限られた工業用地や空き物件等を有効活用し効果的な誘致活動を展開する。また、地元中小企業の労働生産性の向上及び従業員の処遇改善に向けた支援を行い、誘致企業と市内企業による均衡のとれた経済発展を促す。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	011802	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	工業団地整備・検討事業(布袋工業団地)		所属名	経済観光部 企業立地・支援課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件	運営方法	直営
	企業誘致の数		4件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	布袋工業団地整備事業費			予算事業コード	01-06-01-02-17-18

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	企業、市民
意図 (どのような状態にするために)	本市の企業立地を促進し、産業構造の高度化および雇用機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	企業が立地できる新たな工業団地を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①工業団地整備	①工業団地整備	＜事業を一時中断＞ ※企業誘致が決定次第再開予定	①工業団地整備	①工業団地整備	
	年度別実績	①工業団地整備	①工業団地整備	事業一次中断中	①工業団地整備	①工業団地整備	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,417,606	249,153	1,449	12,798	71,351	
	直接経費 A	1,411,831	243,298	0	10,641	69,230	
	直接経費の財源内訳	国・県	178,126	23,301	0	1,992	14,532
		地方債	1,055,300	189,300	0	6,000	42,500
		その他	130,700	0	0	0	0
人件費 B	47,705	30,697	0	2,649	12,198		
	人件費 B	5,775	5,855	1,449	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.20	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	誘致企業件数	件	目標	0	1	1	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106(経027) 9月補正・P23(経006)</p> <p>【事業の概要】 企業立地を押し進め、雇用の拡大を図るため、新たな工業団地を造成する。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 事業未実施 令和元年度 10,641千円 上下水道工事、雨水排水管工事 (翌年度繰越額 25,271千円 下水道工事) 令和2年度 43,960千円 道路整備工事、上下水道工事、汚水排水工事、防火水槽工事 (翌年度繰越額 172,428千円 道路工事、上下水道工事、防火水槽工事)</p> <p>【今後の課題・方向性】 残事業については、企業の立地が決定次第随時事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	誘致企業件数					
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	周辺事業者との工事期間調整等に不測の日数を要し繰越となったが、事業は予定どおり進捗している。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	令和3年度以降の誘致を見込む。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

企業の立地が決定したことで追加補正し、整備推進を図った。残事業については、企業の立地が決定次第随時事業を実施する。

事務事業評価シート

事務事業コード	011900	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	スマートエネルギータウン構想推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件		
	企業誘致の数		4件	20件	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-07

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域、市民、市内のエネルギー企業
意図 (どのような状態にするために)	地域に存在する再生可能エネルギーを活用することにより、エネルギーの地産地消(自立性向上)を推進し、地域に根ざしたエネルギー産業の振興と雇用創造につなげ、地域内で資源と資金が循環するしくみをつくる。
手段 (どうするか)	産学官連携してメガソーラー、バイオマス、マイクロ水力、エネルギーマネジメントシステムの普及を推進するとともに、環境・エネルギー分野での積極的な事業展開を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する	①地域エネルギービジネス支援事業補助金により、地域に根ざしたエネルギー産業の起業と振興を支援する
年度別実績	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:3件	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:1件	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:1件	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:1件	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:1件	①地域エネルギービジネス支援事業補助金 活用事業者:0件	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の内訳	事業費(A+B)		13,234	10,560	10,061	10,798	16,666
	直接経費 A		9,068	6,977	5,118	7,922	13,838
	国・県		0	0	0	1,220	0
	地方債		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	8,811
一般財源		9,068	6,977	5,118	6,702	5,027	
人件費 B		4,166	3,583	4,943	2,876	2,828	
職員数の内訳	正規職員		0.30	0.30	0.40	0.40	0.40
	嘱託職員		1.00	0.70	1.00	1.00	1.00
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]実施事業	件	目標	3
			実績	3	4	5	7	7
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282 【10次総の施策体系】2102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P95(経006)</p> <p>【事業の概要】 産学官が連携してエネルギーの地産地消を主導し、地域経済の循環を促進するとともに、環境・エネルギー分野でのビジネスモデル構築を支援し、地域産業の振興や雇用の創造を図る。</p> <p>【事業の成果】 地域の低炭素化、防災的な観点を見据えたまちづくり、地域エネルギー産業の活性化、地域経済の好循環、雇用の創出など、地方創生を進めるため平成27年8月に「鳥取市スマートエネルギータウン構想」を策定した。これに基づき、地域電力会社「(株)とっとり市民電力」の平成27年8月の設立と環境エネルギー産業アドバイス・研究組織「とっとり環境エネルギーアライアンス合同会社」の平成27年12月の設立を後押しした。 令和2年度は佐治町木合谷川における小水力発電事業の可能性調査を実施。PFI方式により小水力発電事業者を公募し、選定を行った。選定事業者と事業化に向けて協議を行っている。 また、本市も参画する「とっとり環境エネルギーアライアンス合同会社」が、令和2年度の「省エネルギー地域相談プラットフォーム構築事業(経済産業省)」を活用し、中小企業の省エネ無料診断と省エネ設備更新の促進を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 「(株)とっとり市民電力」と「とっとり環境エネルギーアライアンス合同会社」による地域環境・エネルギービジネスの事業化推進を進めることでエネルギーの地産地消を一層推進する。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の諸収入は、二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]実施事業	100%	80%	63%	70%	41%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、人と物の移動が滞りエネルギー産業の活動に支障が生じた。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、人と物の移動が滞りエネルギー産業の活動に支障が生じた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>脱炭素社会の実現に向けた国及び県の施策が加速していく中で、市もこうした動きに乗り遅れることなく積極的に取り組んでいく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	012000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中小企業等支援事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件		
	企業誘致の数		4件	20件	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中小企業等支援事業費		予算事業コード	01-06-01-02-55-06	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中小企業者
意図 (どのような状態 にするために)	中小企業への支援と地域経済の活性化を図る。
手段 (どうするか)	鳥取県中小企業団体中央会へ委託し、中小企業の課題である企業間連携、経営革新、新事業展開、農商工連携、人材育成などの事業やセミナーの開催等を支援し、組織の強化と地域産業の振興を図っていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)
年度別実績	①研修会事業:6回 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業:3回 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業:7回 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業:4回 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業:7回 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業:4回 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業:7回 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業:7回 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)	①研修会事業:4回 (経営革新、新事業展開、人材育成等) ②支援事業:11回 (次世代リーダー育成、組合活性化事業、販路開拓等)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,522	1,532	1,524	1,519	1,507	
	直接経費 A	800	800	800	800	800	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	800	800	800	800	800		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	実施事業数	回	目標	15
	(指標の説明) セミナー等の開催数		実績	13	11	11	14	15
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【事業の概要】 本市の大部分を占める中小企業の次世代リーダーの育成支援、地域資源活用、農商工連携による新商品開発、販路開拓などを積極的に支援するため、組合を中心に支援を展開する鳥取県中小企業団体中央会に事務を委託。 同会加盟の組合・組合員に対する事業活動や人材育成等に関する研修会、個別の組合に対し専門家によるマーケティング支援・緊急課題の実地支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 800千円 令和元年度 800千円 令和2年度 800千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中小企業には、その能力・実績・信用等を含めた総合的な評価を行った上での支援が必要であり、中小企業診断士を多数抱える鳥取県中小企業団体中央会には、指導体制が充実している。同会が持つ経験、知識が必要な業務であるため、今後も委託を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	実施事業数	87%	73%	73%	93%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>本市企業数の大部分を占める中小企業は企業体力が脆弱で変化を続ける経済情勢に影響を受けやすく、かつ、情報収集能力に人員を割け難いため、専門的な知見を有する組織による支援が欠かせない。今後も、内容を精査しながら支援事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	012100	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ビジネスマッチング支援事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則、鳥取市ビジネスマッチング支援事業補助金交付要綱
施策	2102	工業の振興				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件	運営方法	補助金交付
	企業誘致の数		4件	20件	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	ビジネスマッチング支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-32-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内中小企業
意図 (どのような状態にするために)	商品、製品、技術等の販路開拓を行うことにより、新たな販売ルートを開拓し、市内中小企業の販売力及び競争力を向上させる
手段 (どうするのか)	自社の商品、製品及び技術等を売り込むため、国内外の展示会等への出展事業に要する経費の一部の補助を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付
年度別実績	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 13件 内訳 展示会 13件 (うち新規7件)	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 14件 内訳 展示会 14件 (うち新規2件)	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 14件 内訳 展示会 14件 (うち新規5件)	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 14件 内訳 展示会 14件 (うち新規8件)	①経済団体広報誌掲載 ②企業訪問 ③補助金の交付 1件 内訳 展示会 1件		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		5,893	5,666	6,153	5,665	2,261	
直接経費 A		3,727	3,470	3,980	3,408	140	
直接経費の財源内訳		国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,727	3,470	3,980	3,408	140		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]販路拡大展示会参加企業支援	社	目標	21
			実績	13	27	41	55	56
	(指標の説明) 出展会・商談会への参加に要する経費の支援を行った延べ件数。							
2	[KPI]販路拡大展示会参加企業支援(うち海外出展)	社	目標	6	12	18	25	12
			実績	2	4	6	8	8
	(指標の説明) 海外の出展会・商談会への参加に要する経費の支援を行った延べ件数。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 補助金名：鳥取市ビジネスマッチング支援事業補助金 目的：中小企業者の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図るため、中小企業等が行う商品・製品・技術等の販路開拓事業を支援する。 補助対象：鳥取市内に本社を有する中小企業者で、製造業、道路貨物運送業、倉庫業、梱包業、情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業、ソフトウェア業、デザイン業、機械設計業などの事業を営むもの 補助対象経費：出展料、会場備品等リース料、印刷製本費、通訳費、旅費、展示品搬送費 補助率：対象経費の1/2 限度額：1回目 25万円、2回目 20万円、3回目 15万円 海外の場合はいずれの回数の時点でも50万円 補助の上限：補助金の交付は、一企業・同一会計年度1回とし、平成29年4月1日以降通算して国内・国外合わせて3回を限度とする</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 14件 3,470千円 平成30年度 14件 3,980千円 令和元年度 14件 3,408千円 令和2年度 1件 14千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本制度を活用する企業が固定化しないよう周知を図り、中小企業者の支援を目的として、今後も継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】販路拡大展示会参加企業支援	62%	64%	65%	65%	66%
	2	【KPI】販路拡大展示会参加企業支援(うち海外出展)	33%	33%	33%	32%	67%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナの影響で多くの展示会が中止となり、本補助金を活用できる機会が少なかった。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナの影響で多くの展示会が中止となり、本補助金を活用できる機会が少なかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>R2年度は新型コロナの影響で多くの展示会が中止となり、本補助金を活用していただける機会が少なかった。展示会がオンライン形式に変更になることもあり、これまでの補助内容では活用できないケースも増えてくると考えられる。補助対象経費の見直しを行い、多様化する展示会への出展を支援できるよう今後も務める。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035900	重点施策	しごとづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	企業立地促進事業		所属名	経済観光部 企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	工業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業立地促進補助金等の補助事業指定企業件数		30件	75件	運営方法	補助金交付
	企業誘致の数		4件	20件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	企業立地促進補助金		予算事業コード	01-06-01-02-17-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市内の中小製造業等
意図 (どのような状態 にするために)	積極的な設備投資により先端設備等の導入を促進し、生産性の向上を図るとともに、生み出される利益による市民所得の向上を促す。
手段 (どうするのか)	要件を満たす設備投資を行う企業等に対し、その設備等の導入経費に対し補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定1件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定15件。	①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定1件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定15件。	①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定1件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定15件。	
	年度別実績			①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定1件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定件数23件。	①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定2件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定件数10件。	①鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定0件。 ②鳥取市企業立地促進補助金(①を含む全てのメニューで)の指定件数11件。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	640,022	504,542	1,182,445	
	直接経費 A	0	0	632,779	497,352	1,175,374	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	547,337	467,772	970,000
一般財源	0	0	85,442	29,580	205,374		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定企業数	社	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	2	0	
	(指標の説明) 単年度あたりの補助事業指定件数。									
	2	鳥取市企業立地促進補助金(すべてのメニュー)の指定企業数	社	目標	0	0	15	15	15	
				実績	0	0	23	10	11	
	(指標の説明) 単年度あたりの補助事業指定件数。基準値は平成26年度単年度実績。									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P105(経025) 9月補正・P23(経005)</p> <p>【事業の概要】 企業の立地を促進し、産業構造の高度化、雇用機会の拡大、市民所得の向上及び連携中核都市圏の経済振興を図ることを目的とし、以下の補助を行う。 鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー) 平成30年7月新設 対象者：鳥取市内に事業所を置く中小製造業者 鳥取市企業立地促進補助金(事業拡大・雇用増メニュー) 対象者：製造業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業などを営む者 鳥取市企業立地促進補助金(生産性向上メニュー) 平成28年10月新設 平成30年度末で補助事業指定受付終了 対象者：鳥取市に本社を置く中小製造業者 鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金 対象者：情報処理・提供サービス業、ソフトウェア業を営む者</p> <p>【事業の成果】 <補助金交付実績> 平成30年度 交付実績なし 令和元年度 交付実績なし 令和2年度 2社 88,000千円 平成30年度 6社 456,731千円 令和元年度 10社 352,889千円 令和2年度 14社 1,086,792千円 平成30年度 8社 167,255千円 令和元年度 6社 137,446千円 令和2年度 交付実績なし 平成30年度 5社 8,793千円 令和元年度 4社 7,017千円 令和2年度 1社 582千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中小製造業者の先端設備等の積極的導入による労働生産性向上とともに市民所得の向上は統計データ等からも必要と考える。今後も経済情勢や企業ニーズに対応した支援策にシフトさせながら積極的な企業支援を行っていく。 その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取市企業立地促進補助金(所得向上メニュー)の指定企業数			100%	200%	
	2	鳥取市企業立地促進補助金(すべてのメニュー)の指定企業数			153%	67%	73%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	制度の周知不足等により、目標を達成することができなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地元製造業においては労働生産性向上に向けた積極的な設備投資を行い、本市補助事業を活用されている。今後も、経済情勢や企業ニーズに対応した支援策にシフトさせながら積極的な企業支援を行っていく。</p>		